

「仙台大学紀要」総目次（第1集～第23集）

◇第1集（1969年2月刊）

- 発刊のことば——「紀要」刊行に当りて—— 佐 野 保
- フッサールの生世界（Lebenswelt）と存在の底層（1） 加 藤 登之男
- アメリカにおける学校教育と政教分離原則の問題（1） 藤 枝 静 正
- Caesar's Revengeに関する一考察 谷 藤 勇
- ShakespeareのJulius CaesarのPossible Sourceとして—
- イオン交換膜電極法とその応用（1－3報） 加藤京太・熊坂繁太郎
- 淡水甲殻類プランクトンの生態分布 I 庄 司 定 克
- 日なたと日かげの分布—
- 知覚遮断実験 — Open ended taskの影響— 小山田 隆 明
- 運動選手の性格特性—本学体育学部学生を対象にして— 朴沢一郎・松井匡治
- レクリエーションと人間疎外に関する一考察 小田切 毅 一
- 『アメリカのレクリエーション思想に関する歴史的研究』のための一試論—
- 運転時の速度評価 佐久間 敏 行
- 港湾形成の立地条件の変化 永 野 為 紀
- 仙台湾岸における港湾建設の歴史的変遷を例として—

◇第2集（1970年7月刊）

- アメリカにおける学校教育と政教分離原則の問題（2） 藤 枝 静 正
- ShakespeareのAntony and Cleopatraに関する1つの解釈 谷 藤 勇
- Enobarbusについての資料と台詞と役割の研究—
- 仙台湾岸における湾岸の現況と性格 永 野 為 紀
- リン脂質溶液の物理化学的研究（1－3報） 加 藤 京 太
- 第1報 クロロホルム中におけるLecithinとCuCl₂との結合について—
- 第2報 Lecithinと金属塩との結合について—
- 第3報 水—エタノール中におけるPhosphatidyl-ethanolamineの解離について—
- 混合溶媒系におけるリン脂質の解離定数の決定 熊坂繁太郎・加藤京太
- 第一報 75%ジオキサン溶液中におけるLecithinの電位差滴定—

- Eyelid Conditioningの研究……………小山田 隆 明
 —被験者のvisual attentionの影響—
 アメリカのレクリエーションにみる自由主義の伝統……………小田切 毅 一
 —フランクリン、エマゾンに代表される理念像について—
 低酸素耐性と心拍出量……………中 川 功 哉
 プログラム学習に関する実験的研究……………朴沢一郎・鈴木文夫・松井匡治
 —簡易サッカー基本スキルの習熟過程を通して—

◇第3集（1971年7月刊）

- Tender is the Night試論……………本 間 喜美子
 「臨港指向性工業と港湾」についての一考察……………永 野 為 紀
 —塩釜に即して—
 淡水産甲殻類プランクトンの生態分布Ⅱ……………庄 司 定 克
 —浅い池における分布の日変化—
 体育学部学生の外傷統計に関する一考察……………佐久間 充

◇第4集（1972年7月刊）

- 神津島における建切網漁業の構造……………永 野 為 紀
 水—エタノール溶媒中での塩化カリウムの拡散定数……………熊 坂 繁太郎
 仙台市井土浦におけるカニ類の分布……………庄 司 定 克
 とくにチゴガニ*Ilyoplax pusillus* (DE HAAN)とコメツキガニ*Scopimera globosa* DE HAANのすみわけとともずみについて
 学校体育教材としての柔道の変遷及びその意義について……………川 村 巖
 動機づけと運動学習のパフォーマンスに関する
 体育心理学的研究について……………松 井 匡 治
 (報告)
 西ドイツ社会体育・スポーツの現状……………塩 崎 光 蔵

◇第5集（1973年10月刊）

- 明治十年代における教育政策の転換とその地方への浸透過程……………千 葉 昌 弘
 —宮城県の場合を中心として—
 Theodore Dreiser: The Bulwarkへの道 (I)……………本 間 喜美子

- 後進地域における工業港の形成と展開 永 野 為 紀
 — 小名浜港を例として —
 生体電解物質の拡散の研究 (第1報) 熊 坂 繁太郎
 — 塩化ナトリウム溶液中での塩化アセチルコリンの拡散定数の決定 —
 淡水産甲殻類のプランクトンの生態分布 (Ⅲ) 庄 司 定 克
 — 浅い池における人為日かげの分布への効果 —

◇第6集 (1974年10月刊)

- Katherine Anne Porterにおける愛 本 間 喜美子
 村落構造再検討の一視角 佐 藤 三 三
 共同研究 宮城県近代学校体育成立史の研究 (Ⅰ) 千葉昌弘・川村 巖・藤井邦夫
 — 明治期の宮城県における学校体育の成立と展開 —
 各種筋力のスポーツ特性に関する研究 佐 藤 佑

◇第7集 (1975年10月刊)

- 明治初期東北地方における教員養成機関の成立過程 千 葉 昌 弘
 部落再編成と部落会組織 佐 藤 三 三
 — 秋田県仙北郡太田町惣行・石神・長田湯伝・金井伝 —
 知覚運動学習における心理的練習の効果 松 井 匡 治
 — 追 従 動 作 に つ い て —
 身体発育の解析 佐久間敏行・横川和幸
 — 長育のパターンを中心として —
 女子運動選手の性周期に伴う体力変化 渡 辺 淑 子

◇第8集 (1976年10月刊)

- Theodore Dreiser: The Bulwarkへの道 (Ⅱ) 本 間 喜美子
 明治初期宮城県の女子教育と (初代) 朴沢三代治 千 葉 昌 弘
 The Distribution of Ports and Its Regional Tendency in Japan
 Tamenori NAGANO
 カルガモ *Anas Poecilorhyncha zonorhyncha* Swinhoeによる
 イネ *Oryza sativa* L. の被害について 庄 司 定 克

- 資本制大工業と労働の要素化……………横 山 敏
 — G・ルカーチの資本関係における物象化論の批判 —
 直走路・曲走路におけるスピードおよびスライドに関する一考察……………横 川 和 幸

◇第9集 (1977年10月刊)

- Types of Industrial Ports as Viewed from
 the Way to Use Wharves……………Tamenori NAGANO
 Theodore Dreiser: The Bulwarkへの道 (Ⅲ)……………本 間 喜美子
 稲作農業と青年の教育……………横山 敏・武田共治
 — 南郷町農協組合員学校の成立 —
 柔道の乱取に関する歴史的考察……………川 村 巖
 運動実施高齢者の呼吸循環機能に関する研究……………佐藤 佑・小島淑子・菅野俊郎
 — 大学長距離選手との比較 —
 本学の教育実習の実態と問題点 (Ⅰ)……………藤 井 邦 夫
 (報告)
 仙台大学学生の体格および体力……………藤井邦夫・佐藤 久・横川和幸・藤原 徹

◇第10集 (1978年10月刊)

- 外国の短期大学 (続)……………田 中 久 子
 砂浜の潮間帯生物群集の生態学的研究 (Ⅰ)……………宍 戸 勇
 労働者教育の組織と内容編成について……………横 山 敏
 呼吸・循環機能・血糖変動におよぼすglucose投与の影響……………菅 野 俊 郎
 (研究ノート)
 ダンスの習熟過程における運動時心拍数の変化について……………本 多 弘 子

◇第11集 (1979年10月刊)

- 私立大学学長論〔Ⅰ〕……………小 室 庄 八
 — 法令上より見た私立大学長の地位 —
 仙台大学バレーボール部員の形態および運動能力……………藤 原 徹
 ジャンプ力向上のためのトレーニング効果について……………児 玉 善 廣
 — 本学バスケットボール選手7名について —
 学校教材としての柔道の変遷及び意義について (第2報)……………川 村 巖

- ハンドボールにおけるスローの運動形態学的考察……………佐 藤 久
 —スローの分類を中心として—
- 競泳種目の記録分析……………宮 城 進
 —自由型の日本記録と世界記録の比較—
- CONFLICT—the Cause of Fitzgerald's Failure……………Hisako TANAKA
- 石巻工業港における港湾機能の性格……………永 野 為 紀
 (研究ノート)
- 打叩速度とパーソナリティ
 ……………朴沢一郎・松井匡治・片岡 彰・日下正一・長谷川啓三・鈴木敏明
- 疾走能力とストライド・ピッチ・跳躍能力との関係について……………横 川 和 幸
 —本学学生について—

◇第12集 (1980年10月刊)

- 遊びからスポーツへの機能変動に関する一考察……………丸 山 富 雄
- 水球競技におけるオーバーハンドスローの動作分析……………宮 城 進
- サッカーのゴールキーパーの構えについて……………中屋敷 真
- ゲーテの形態学における認識問題〔I〕……………土 橋 寶
- チオシアン酸錯体生成による微量モリブデンの抽出—吸光光度定量法……………熊 坂 繁太郎
 (研究ノート)
- ペンシルバニア大学のTheodore Dreiserコレクション〔1〕……………本 間 喜美子
- 大学の設置認可に関する法と行政……………若 井 彌 一
 ——大学の大衆化との関連において——
- (書評)
- Bensonの 'Aphasia, Alexia and Agraphia' について……………佐 藤 健

◇第13集 (1981年10月刊)

- 日本の一流競技者のスポーツ観構造について……………丸 山 富 雄
 ——日本人のスポーツ観分析のための一試論——
- スコアグラフによるバレーボールのゲーム分析について……………藤 原 徹
- ジェイムス・ネイスミスの "Basket Ball"—1984—について……………児玉善廣・田中久子
- ゲーテの形態学における認識問題〔II〕……………土 橋 寶

仙台市蒲生七北田川河口域の最深点における懸濁
および溶存物質の垂直分布……………熊坂 繁太郎

(研究ノート)

The Theodore Dreiser Collection of the University
of Pennsylvania〔Ⅱ〕……………Kimiko HONMA

◇第14集 (1982年10月刊)

スポーツ選手の時間評価 (Ⅰ)……………佐久間敏行・藤井邦夫・松井匡治
ハンドボール競技におけるステップ法について……………佐藤 久
サッカー選手の短距離疾走能力について……………中屋敷真・横川和幸
——仙台大学サッカー部員を対象として——

大学生におけるバスケットボールのスキルテストの研究……………児玉 善 廣
剣道の技術に関する基礎的考察……………下島 浩 二

キレート交換樹脂による前濃縮と α -ベンゾインオキシムを
用いる溶媒抽出を併用するチオシアン酸吸光光度法による
自然水中の微量モリブデンの定量……………熊坂 繁太郎

(総合研究)

1920年代へのアプローチ (Ⅰ)

アメリカ文学と1920年代……………本間 喜美子
ドイツ「二十年代」にみるゲーテ……………土橋 寶
1920年代ドイツ青年心理学……………鈴木 敏 明
日本におけるヤリ投げ技術の発展……………藤井 邦 夫
太田水穂の短歌観……………阿部 武 彦

(研究ノート)

幼児のスポーツ参加と両親の影響 (第1報)……………丸山 富 雄
——両親のスポーツ関心と教育熱からみたその地域的な比較——

◇第15集 (1983年10月刊)

宮城県における淡水産甲殻類プランクトンの地域的分布について……………庄 司 定 克
仙台市蒲生七北田川河口域における懸濁物質
およびクロロフィル a の分布……………熊坂 繁太郎

(総合研究)

1920年代へのアプローチ (Ⅱ)

太田水穂と芭蕉……………阿部 武 彦

- 1920年代に於ける嘉納治五郎 …………… 藤 堂 良 明
 ——講道館柔道の発展について——
- ドイツ「二十年代」にみるゲーテ（Ⅱ） …………… 土 橋 寶
 ——形態学への関心——
- アメリカ文学と1920年代 …………… 本 間 喜美子
 ——Soldiers' Payを通して見たる——

◇第16集（1984年10月刊）

- スポーツ選手の時間評価（Ⅱ） …………… 佐久間敏行・藤井邦夫・松井匡治
- ダンス指導における伴奏音楽の効果 …………… 本 多 弘 子
 ——二拍子のBalance-Stepについて——
- 幼児のスポーツ参加と両親の影響（第2報） …………… 丸 山 富 雄
 ——スポーツ教室参加者と非参加者との比較考察——
- 現代剣道と『五輪書』（Ⅰ） …………… 下島浩二・藤堂良明
 ——基礎的動作の比較考察——
- モルフォロジー的運動分析に関する一考察 …………… 川 口 鉄 二
- 学校間格差下の生活と教育課程（1） …………… 横 山 敏
 ——山形県村山地区の調査研究——
- 教育「研修」概念に関する研究 …………… 佐 藤 幹 男
 ——その成立過程を中心に——
- 国家の規範的能力 …………… 加 藤 英 俊
 ——コンラート＝ヘッセの法思考について——

（研究ノート）

- 学生の健康状態の経年推移に関する研究（第1報） …………… 佐渡一郎・佐久間敏行
 ——Cornell Medical Index（CMI）健康調査の結果——
- ペイズ統計学に基づく統計処理パッケージプログラム …………… 鈴 木 敏 明
 ——μCADAの開発——

◇第17集（1985年10月刊）

- ハンドボール競技におけるステップ法の研究（Ⅱ） …………… 佐 藤 久
- 体操競技中の選手の心拍数変動 …………… 岡村輝一・鈴木省三
- 水球競技におけるゲーム分析 …………… 宮 城 進
 ——1984年ロサンゼルス・オリンピック大会の場合——
- わが国におけるスポーツ組織の形成過程に関する研究（Ⅰ） …………… 日 下 裕 弘
- 学校間格差下の生活と教育課程（2） …………… 横 山 敏
 ——山形県村山地区の調査研究——

- 体育大学における英語教育—仙台大学……………田 中 久 子
 仙台市蒲生干潟水域における塩素と懸濁物質の分布……………熊 坂 繁太郎
 (研究ノート)

- バスケットボールプレーヤーの「力量」評価システム(1)……………児玉善廣・鈴木敏明
 バスケットボールプレーヤーの「力量」評価システム(2)……………鈴木敏明・児玉善廣
 (資 料)

- 仙台大学学生の体格及び体力・運動能力テストの結果報告
 (昭和58年・59年・60年度スポーツ・テストの結果及び各学年の年次的推移について)
 ……………仙台大学体育学部 スポーツ・テスト委員会

◇第18集 (1986年10月刊)

- 嘉納治五郎の柔道観 (その1) ……………藤 堂 良 明
 ——柔道の目的と乱取・形の練習方法について——
 スポーツ参加者の階層構造に関する研究……………丸山富雄・菅原 禮・日下裕弘
 スポーツに対する社会態度の因子分析的研究……………日下裕弘・菅原 禮・丸山富雄
 ——H. J. アイゼンクの社会態度理論に準拠して——
 ボブスレー競技滑走中および滑走前後における心拍数
 血漿カテコールアミン・白血球数の変動……………鈴木省三・佐藤 佑
 国際バレーボール・ルールの変遷について……………松 本 昌 三
 バスケットボールの競技力構造の分析……………児玉善廣・鈴木敏明
 ——ユニバーシアード男子ソ連・アメリカ・日本の選手比較を基に——
 水球競技におけるシュート力について……………宮 城 進
 ——ボール・スピード向上のための要因——
 (資 料)

- 仙台大学学生の体格及び体力・運動能力テストの結果報告
 (昭和61年度スポーツ・テストの結果及び各学年の年次的推移について)
 ……………仙台大学体育学部 スポーツ・テスト委員会

◇第19集 (1987年10月刊)

- 筋伸張運動 (ストレッチング) の生理学的研究…佐藤 健・佐藤 佑・中屋敷真・鈴木省三
 各種跳躍能力と短距離疾走能力との関連性について……………横 川 和 幸
 ——本学陸上競技部員を対象として——
 バレーボールのゲーム分析……………藤 原 徹
 ——サーブの落下点とサーブレシーブの成功率に関する考察——
 水球競技における巻足能力テストについて……………宮 城 進

(研究ノート)

学内小規模LANのための試行研究（報告1）……………鈴木敏明・川口鉄二

(資 料)

仙台大学学生の体格及び体力・運動能力テストの結果報告
 （昭和62年度スポーツ・テストの結果及び各学年の年次的推移について）
 ……………仙台大学体育学部 スポーツ・テスト委員会

◇第20集（1988年10月刊）

わが国におけるスポーツ組織の形成過程に関する研究（Ⅱ）……………日 下 裕 弘

一般成人のスポーツ参与と社会階層……………丸山富雄・日下裕弘

ボブスレー選手のトレーニングとしてのスーパースライダー
 滑走の生理学的意義……………鈴 木 省 三

戦前における「研修」概念……………佐 藤 幹 男
 ——教育界における使われ方を中心に——

(研究ノート)

伴奏音が舞踊観賞に与える影響（第1報）……………本多弘子・鈴木敏明・川口鉄二

(資 料)

仙台大学学生の体格および体力・運動能力テストの結果報告
 （昭和63年度スポーツテストの結果および各学年の年次的推移について）
 ……………仙台大学体育学部 スポーツ・テスト委員会

◇第21集（1990年3月刊）

Bewegungsfertigkeit の把握に関する運動学的一考察
 ……………川 口 鉄 二

バスケットボールの競技力構造の分析
 ——ソウル・オリンピック'88・男子チームについて——
 ……………児 玉 善 廣

「スポーツと武道」——格技から武道への名称変更に関わるその背景について……………斎 藤 浩 二

CORRESPONDENCE PROCESS IN MULTI-ELEMENT
 APPARENT MOVEMENT (3)
 ——INFLUENCE OF STIMULUS LUMINANCE——
 ……………平 田 忠

(資 料)

「体格および体力診断テスト」の結果報告
 （平成元年度スポーツテストの結果及び各学年の年次的推移について）
 ……………仙台大学体育学部スポーツ・テスト委員会

◇第22集 (1991年 3 月刊)

体育科教育における生涯体育理論の再検討

——E.H.エリクソンのアイデンティティ論のパースペクティブから——

..... 日 下 裕 弘

地域変動と教育 (上) 横 山 敏

阿武隈川水系河川における底生動物の研究 宍 戸 勇

——大滝根川の水生昆虫の分布と優占種について——

土地改良の負担金問題 大和田 寛

演劇モデルによる行為理解 (1) 小 松 恵 一

(RESEARCH NOTE)

A STUDY ON THE ADAPTATION OF
LATIN-AMERICAN NIKKEIS IN JAPAN

..... TADASHI HIRATA and MARGARITA FOSTER

(資 料)

「体格および体力診断テスト」の結果報告

(平成 2 年度スポーツ・テストの結果及び各学年の年次的推移について)

仙台大学体育学部スポーツ・テスト委員会

◇第23集 (1992年 3 月刊)

地域変動と教育 (下) 横 山 敏

高島善哉の市民社会論 (上) 大和田 寛

——日本の市民社会論研究序説——

役割と演技 小 松 恵 一

——演劇モデルによる行為理解(2)——

AN ANALYSIS OF OBSTACLES ENCOUNTERED
WHILE TEACHING ENGLISH CONVERSATION
AND SPORT IN JAPAN

..... Thomas S. OTO

(資 料)

平成 3 年度前期電算室利用状況報告

..... 内 野 秀 哲

「体格および体力診断テスト」の結果報告

(平成 3 年度スポーツ・テストの結果及び各学年の年次的推移について)

..... 仙台大学体育学部スポーツ・テスト委員会